

第九回

# 日本縦断和太鼓コンサート



御陣乗太鼓 (石川県)

舞太鼓 あすか組 (奈良県)

浅野 祥 (津軽三味線) (宮城県)

吉井 盛悟 (笛・胡弓) (神奈川県)

長谷川 義・長谷川 準 (太鼓) (大分県)

山部 泰嗣・倉敷天領太鼓“一刀” (岡山県)

2017年

## 3月12日(日)

## 倉敷市民会館 大ホール

午後3時 開場 午後4時 開演

【全席指定】一般 2,000円 / 大学生以下 1,000円 ※当日券は各500円増しとなります。  
(学生の方はご入場の際学生証等ご提示をお願いする事がございますのであらかじめご了承下さい。)

予約・お問合せ

■アルスくらしきチケットセンター

営業時間：平日8:30～17:00(土日祝は休業)

■インターネット予約

アルスくらしきホームページからチケットを注文することができます。

■第九回日本縦断和太鼓コンサート事務局

### 086-434-0010

<http://arsk.jp/>

TEL/086-425-1572 FAX/086-425-3733

〒710-0826 倉敷市老松町3-15-4 事務局代表 小山 寛(小山珈琲店/休日:月曜日)



(12月15日(木)発売)

◆チケットのお求めは <倉敷市内プレイガイド>倉敷市民会館、小山珈琲店、インディスク(天満屋倉敷店4F) <岡山市内プレイガイド>ぎんざや、岡山シンフォニーホール  
【主催】 倉敷市・山陽新聞社・倉敷市文化振興財団 【共催】 倉敷市教育委員会 【協賛】 公益財団法人 JFE21世紀財団  
【協力】 一般財団法人 浅野太鼓文化研究所・株式会社 宮本卯之助商店

# 第九回 日本縦断和太鼓コンサート

## 出演団体プロフィール



### 能登輪島 御陣乗太鼓 (石川県)

天正4年(西暦1576年)越後の上杉謙信は、七尾城を攻略して「霜は軍営に満ちて 秋気清し 越山を併せたり 能州の景」と詠じ、その余勢をかって奥能登平定に駒を進めた。現在の珠洲市三崎町に上陸した上杉勢は、各地を平定し天正5年、破竹の勢いで名舟村へ押し寄せてきた。武器らしいものがない村の人達は、鍬や鎌で打ち向かったがさんざんな負け戦であった。そのような時、村の古老の指図に従い、樹の皮をもって仮面を作り、海草を頭髮とし、太鼓を打ちならしつつ、上杉勢に逆襲し、戦いを勝利に導いたという。面をつけることによって、「御陣乗り」と称して今日まで伝えられている。始めはゆっくり、次にやや早く、最後はもっと早く、即ち序・破・急の三段で打ち切り、各自が自由な形で見えを切り、面に応じ、個性を生かした芸を入れるのが見どころ、聞きどころである。



### 舞太鼓 あすか組 (奈良県)

1990年創設。  
飛鳥大五郎が考案した、その天を突く様な鋭い打法は、日本及び世界における一つのスタンダード奏法となっている。国内公演のみならず、カイロオペラハウス、ロシアクレムリン宮殿ほか、世界20カ国3,000会場以上で公演を行っている。  
世界最大の芸術祭である英国『エジンバラ・フリンジ』での1ヶ月公演は、各メディアより五つ星を獲得し絶賛された。2014年ロシア全土を巡る歴史的なツアーは30都市に及び、全会場でスタンディングオベーションの大喝采と感動の渦を巻き起こした。2015年から2016年にかけて創立25周年記念公演を国内外で行う。



### 浅野 祥 (宮城県)

5歳の時、祖父の影響で三味線を始める。7歳で津軽三味線全国大会(弘前)に最年少で初出場。翌年より各級の最年少優勝記録を次々と塗り替える。04年津軽三味線全国大会最高峰のA級最年少優勝(14歳)。その後、06年まで連続優勝し3連覇。同大会の殿堂入りを果たす。  
本来の民謡、古典芸能はもちろん石川さゆりとの共演やオレンジレンジとの共演、早乙女太一との共演やワハハ本舗全体公演に参加等ジャンルを超えて活動の場を広げている。古典や民謡を学び伝承を目指しながら、楽器としての津軽三味線の可能性を追い求める孤高の若き津軽三味線奏者。



### 吉井 盛悟 (神奈川県)

2003年より「鼓童」に参加、太鼓、笛、胡弓の演奏を担当。国内外で年平均110公演、累計で約800公演に参加、フジロックを始め海外フェスティバルにも多数参加し作曲、演出も手がける。2013年鼓童より独立。2014年、ヨーテポリ・バレエSpiritに客演参加。ピナバウシュダンスカンパニー40周年記念作品Fractusに作曲、演奏者として参加。バルセロナの日本イベント「MATSURI」音楽監督を担当。2015年シアターコクーンでの舞台「Pluto」の音楽担当、森山未来主演「エラホチルド」演出、舞台作品「Judas,Crist with Soy」を愛媛県内子座で創作、発表。2016年川井郁子オーチャードホール15周年記念コンサート演出構成。シディ・ラルピ・シェルカウイの作品FractusVの世界ツアーに参加。日本音楽を民族音楽として総合的に捉え、創作表現する総合芸術家。



### 長谷川 義 (大分県)

1979年、豊の國ゆふいん源流太鼓を創設。  
由布院の自然や文化を取り入れ様々な楽曲を制作。全国各地の太鼓フェスティバルやイベントに出演するなど、日本トップレベルの集団を作り上げた。  
2011年(公財)日本太鼓財団が主催するシニアコンクールにて、最高位である名人位を獲得。



### 長谷川 準 (大分県)

ゆふいん源流太鼓のメンバーとして活動。年間100回を超える演奏活動の中で独自の締太鼓奏法を確立。今ではその奏法は全国に広がり源流スタイルとして定着している。締太鼓の奏法を基本に大太鼓、長胴太鼓、組太鼓全ての演奏でキレのある撥さばきをみせる。



### 山部 泰嗣・倉敷天領太鼓“一刀” (岡山県)

1988年生まれ、岡山県出身。3歳から太鼓に親しみ、6歳で倉敷天領太鼓のメンバーとして舞台に立つ。2004年「東京国際和太鼓コンテスト 大太鼓部門」にて史上最年少で最優秀賞を獲得。「50年に一人の逸材」と注目され、独特のリズム感と抜群に早いバチ捌きを特徴としあらゆるリズムを自由自在に和太鼓で表現する。「山部泰嗣と天領太鼓“一刀”」を結成し、プロ奏者として海外にも活動の場を広げる一方、舞台演出・作曲など新たな和太鼓の可能性を追求し、他ジャンルとの共演も積極的に行っている。最近の出演作品に中国台湾「台湾太鼓新春総合公演」(2016) TV「RIZIN FIGHTING WORLD GRAND PRIX 2015」(フジテレビ/さいたまスーパーアリーナ)など。受賞歴に、オカヤマアワード 2011 特別伝統芸能賞、2010年福武文化奨励賞、2005年倉敷市芸術文化奨励賞、岡山芸術文化賞 準グランプリ。